

計画の名称	大淀町における快適で活力ある暮らし・環境の実現																												
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)					交付対象	大淀町																						
計画の目標	大淀町において、効率的な下水道整備を行うことにより、生活環境の改善及び公共用水域の水質改善を図り、快適で活力ある暮らし・環境を実現する。																												
計画の成果目標(定量的指標)	①下水道処理人口普及率を72%から82%に向上させる。																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>72%</td> <td>78%</td> <td>82%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>72.0%</td> <td>78.9%</td> <td>82.6%</td> <td></td> </tr> </table>											①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)		72%	78%	82%			72.0%	78.9%	82.6%	
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																										
	72%	78%	82%																										
	72.0%	78.9%	82.6%																										
全体事業費	合計 (A+B+C)	830 868 百万円	A	720 791 百万円	B	C	110 77 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	13.3%	8.9%																			
<b>事後評価(中間評価)</b>																													
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																													
事後評価(中間評価)の実施体制						事後評価(中間評価)の実施時期																							
						平成29年4月																							
目標値は整備人口普及率、整備延長等客観的に算定される数値であり、施設課により達成状況を検証し評価を行った。						公表の方法																							
						大淀町ホームページにて公表																							
1. 交付対象事業の進捗状況																													
<b>交付対象事業</b>																													
<b>A 下水道事業</b>																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考												
											H23	H24	H25	H26	H27														
吉野川処理区																													
A-1	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	第6処理分区(未普及対策)	汚水管φ250~200mm L=2.5km 汚水管φ250~200mm L=1.8km	大淀町						250	234												
A-2	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	第5処理分区(未普及対策)	汚水管φ200mm L=0.4km 汚水管φ200mm L=0.5km	大淀町						40	22												
A-3	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	第4処理分区(未普及対策)	汚水管φ200mm L=1.5km 汚水管φ200mm L=0.7km	大淀町						150	73												
A-4	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	第10処理分区(未普及対策)	汚水管φ200mm L=1.8km 汚水管φ200mm L=4.4km	大淀町						166	392												
A-5	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	第8処理分区(未普及対策)	汚水管φ200mm L=0.6km	大淀町						70	0												
A-6	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	第3処理分区(未普及対策)	汚水管φ200mm L=0.5km 汚水管φ200mm L=0.4km	大淀町						40	61												
A-7	下水道	一般	大淀町	直接	—	汚水	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し 施設計画の見直し	大淀町						4	9												
小計(下水道事業)											720	791																	
合計											720	791																	
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考													
										H23	H24	H25	H26	H27															
合計												0																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
吉野川処理区																
C-1	下水道	一般	大淀町	直接	—	新設	第6処理分区（未普及対策）	汚水管 φ200mm L=300m 汚水管 φ200mm L=110m	大淀町						28 19	
C-2	下水道	一般	大淀町	直接	—	新設	第5処理分区（未普及対策）	汚水管 φ200mm L= 50m 汚水管 φ200mm L=30m	大淀町						5 3	
C-3	下水道	一般	大淀町	直接	—	新設	第4処理分区（未普及対策）	汚水管 φ200mm L=150m 汚水管 φ200mm L=22m	大淀町						16 4	
C-4	下水道	一般	大淀町	直接	—	新設	第10処理分区（未普及対策）	汚水管 φ200mm L=180m 汚水管 φ200mm L=247m	大淀町						18 20	
C-5	下水道	一般	大淀町	直接	—	新設	第8処理分区（未普及対策）	汚水管 φ200mm L= 80m	大淀町						8 0	
C-6	下水道	一般	大淀町	直接	—	新設	第3処理分区（未普及対策）	汚水管 φ200mm L= 50m 汚水管 φ200mm L=36m	大淀町						5 7	
C-7	下水道	一般	大淀町	間接	個人	排水設備	土田・楡垣本・新野・下瀬地区等の各戸排水設備設置の助成	宅内排水設備250戸分 宅内排水設備148戸分	大淀町						25 15	
C-8	下水道	一般	大淀町	間接	個人	排水設備	土田・楡垣本・新野・下瀬地区等の下水道接続に伴う助成	下水道接続に伴う浄化槽撤去費用補助50戸分 下水道接続に伴う浄化槽撤去費用補助100戸分	大淀町						5 9	
合計												110 77				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1～6	基幹事業（A-1～6）と接続する汚水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。	
C-7	地域住民に各戸排水設備設置を助成することで、個人負担の軽減を図り、公共用水域（吉野川等）の水質改善につながる早期の水洗化に住民自らも取り組むことができる。	
C-8	単独・合併浄化槽から下水道への切替に対し、地域住民に撤去費用を補助することで、水洗化の促進を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・整備人口普及率が平成23年度当初の78%から平成27年度末の82.6%に向上したことにより、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（大淀町における下水道整備人口普及率）	最終目標値	82.00%	目標値と実績値に差が出た要因	・整備効果が高い地区を優先的に整備することで目標を上回った。
		最終実績値	82.60%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）	
<p>今後は、経営戦略を策定の上、より健全かつ持続可能な下水道事業の推進を目指している。今後とも整備人口普及率の向上と健全な事業経営に努める。</p>	